

東北畜産学会報投稿規定

1. 東北畜産学会報に掲載する論文は、会員からの原著論文、短報（内容は予報、速報など）、総説、解説（内容は実用的なもの）、資料などとする。総説、解説、資料は本学会が依頼したものを主とするが、これに限定しない。
2. 投稿論文は和文とし、東北の畜産や畜産学の発展に寄与する内容を持ち、本投稿規定ならびに「投稿の手引き」に従ったもので、他誌に未発表のものに限る。
3. 原稿は、原稿添付用紙とともに電子ファイル化し、Eメールあるいはファイルを記録したCDを郵送にて編集委員長に送付する。郵送の場合は封筒に「原稿在中」と朱書きした簡易書留とする。
4. 審査中および本誌に掲載された論文の著作権は東北畜産学会に属する。
5. 論文などの採否は編集委員会が依頼する論文審査委員（2名）の審査を受けた後、編集委員会が決定する。したがって、原稿を返却したり、訂正を求めたりすることがある。
6. 論文は原則として審査終了順に掲載する。
7. 刷り上りページ数（論文の刷り上り1ページは約2,300字となる）は次の規定に従う。
 - 1) 原著論文は原則として図、表、写真など一切を含めて6ページ以内とする。
 - 2) 短報は原則として一切を含めて3ページ以内とする。
 - 3) 総説と解説は原則として一切を含めて6ページ以内とする。ただし、本学会が依頼した総説はこの限りでない。
8. 著者校正は原則として1回とする。校正の際、字句の追加、削除または文章の移転は認められない。指定された期日までに編集委員会に返送しなければならない。
9. 論文掲載料は著者が負担しなければならない。論文掲載料は、次のように定める。
 - 1) 上記7で示す刷り上りページ数の規定内は1ページ1,500円とする。
 - 2) それを超過する分は1ページ6,000円とする。
 - 3) カラー印刷は1ページにつき10,000円加算する。
 - 4) 英文校閲の費用は著者が実費を負担する。
 - 5) 印刷について特別な指定のある場合、著者がその実費を負担する。
 - 6) 原則として本学会が依頼した論文の掲載料は徴収しない。

10. 別刷は、著者が論文投稿時に原稿添付用紙に必要部数を記入して申し込み、送料を含めた実費を負担する。なお、本学会で依頼した総説などの著者には50部を無料進呈する。著者がPDFファイルを希望する場合、無料で進呈する。なお、CDでの郵送を希望する場合には著者が実費を負担する。
11. 本規定の改正は評議員会の議決を経て行う。

付 記

この規定は平成23年9月8日から施行する。

東北畜産学会報「投稿の手引き」

1 投稿要領

論文を投稿する際には、必要事項を記入した原稿添付用紙を添付する。原稿添付用紙は学会ホームページからダウンロードできるほか、学会報の毎巻1号にとじ込まれている。

2 論文の体裁

- (1) 原稿は、コンピュータソフトを用いて縦A4版用紙に横書き36字×30行で作成し、上下左右とも3cm幅以上の余白を設ける。使用するコンピュータソフトは最新版のマイクロソフトオフィス（ワード、エクセル、パワーポイント）が望ましい。それ以外のソフトを使用する場合、最新版マイクロソフトオフィスと互換性があることを確認しておくこと。
- (2) 用紙のフットノートにページ数、左側の余白に連続した行番号を記入する。
- (3) 論文は、独立した表題とし、連続論文の形式にしない。
- (4) 原著論文は、原則として表紙、要約、キーワード、本文（緒言、材料および方法、結果、考察、謝辞）、引用文献、図の説明、図表、英文抄録の順とする。表紙には表題、略表題、著者名、所属機関名、住所、連絡者の氏名と連絡先（住所、電話番号、Eメールアドレス）を記載する。英文抄録は表題、著者名、所属機関名、住所、連絡者の氏名と連絡先、抄録、キーワードの順に記載する。
- (5) 短報、総説および解説では、要約と英文抄録を付けず、表紙に表題、略表題、著者名、所属機関名、住所、連絡者の氏名と連絡先（住所、電話番号、Eメールアドレス）を記載する。表題、著者名、所属機関名、住所、キーワードは和文と英文を併記する。
- (6) 略表題は15字以内とする。

- (7) 原著論文の要約は600字以内、抄録は300語以内とし、目的、方法、結果、結論がよく読み取れる内容とする。
- (8) キーワードは和文、英文ともにそれぞれ5個以内とし、和文の場合は五十音順、英文ではアルファベット順で記載する。
- (9) 動植物の学名などイタリック体で印刷すべきものは、*Rattus norvegicus* のようにイタリック体で記載し、さらに下線を引く。
- (10) 本文ならびに引用文献の人名は原名つづりとし、Smith のようにする。その他の外国語は原字またはカタカナとする。
- (11) 数字はすべて算用数字を用いる。単位の略号は原則としてSI単位を使用する。
例：km, m, cm, mm, μ m, nm, kl, l, ml, μ l, kg, g, mg, μ g, pg, h, min, s, mol, M, N, ppm, ppb, J, $^{\circ}$ C, Pa, mmHg, rpm, Hz, %
- (12) 実験に動物を使用した場合、それぞれの機関における動物実験委員会などの承認を受け、ガイドラインに従って実験を実施した旨を記載することが望ましい。

3 引用文献

- (1) 引用できる文献は単行本および学術論文とし、学会講演要旨および商業誌に掲載された論文は原則として引用できない。
- (2) 引用文献は、次の手順により作成する。
- ① 雑誌に掲載された文献の記載は、著者名(全員)、表題、雑誌名、巻：最初-最終ページ、発行年の順とする。
例：Drori D, Loosli JK. Influence of fistulation on the digestibility of feeds by steers. *J. Anim. Sci.*, 18 : 206-210. 1959.
佐々木清綱, 松本久喜, 西田周作, 細田達雄, 茂木一重. 牛の血液型に関する研究. *日畜会報*, 27 : 73-76. 1956.
横田祥子, 杉田春奈, 大友良彦, 須田義人, 鈴木啓一. 黒毛和種牛肉における脂肪酸組成と枝肉形質および肉質形質との遺伝的関係. *東畜会報*, 60 : 80-85. 2011.
- ② 単行本の記載は、著書名、書名、版、引用ページ、発行所、発行地、発行年の順序とする。分担執筆の場合は例に従い、題名、編集または監修者名を加える。
例：Nalbandov AV. *Advances in neuroendocrinology*. 2nd ed. 156-187. Univ. of Illinois Press. Urbana. 1963.

Folley SJ, Malpress FH. Hormonal control of mammary growth. In: *The Hormones* vol. 1. (Pincuss G, Thimann KV eds.) 695-743. Academic Press. New York. 1948.

諏訪紀夫. 定量形態学. 第1版. 12-23. 岩波書店. 東京. 1977.

- (3) 引用文献は、著者の姓のアルファベット順に整理する。同一著者による複数の文献がある場合には発表順に並べ、同一年に複数の文献がある場合には発行年の後にアルファベットを記して区別する。
- (4) 本文中に引用する場合、「諏訪(1977)は～」あるいは「～(諏訪, 1977).」のように記載する。2人の連名のときは両者の姓を“と”を用いて併記し、3人以上の連名のときは筆頭著者以外を“ら”と略記する。また、括弧内に複数の文献を引用する場合、「～(FolleyとMalpress, 1948; 佐々木ら, 1956).」のように発行年順に列挙する。
- (5) 著者名、雑誌名は上記(2)の例のように略記する。
- (6) 未発表のデータ(投稿中を含む)を引用する場合、上記(4)の発行年に代えて未発表と記載し、引用文献には掲載しない。

4 図、表および写真

- (1) 図はコンピュータソフトを使用して作成することが望ましい。図および写真は、文字を含めてA4版用紙にそのまま印刷できるように作成する。図、写真ともに用紙の周囲は3cm幅以上の余白を残し、右上の余白に(著者名, 図○)と入れる。
- (2) 図、表および写真は和文または英文で作成する。
- (3) 図の説明は和文または英文とし、別紙にまとめる。
- (4) 本文中に図および表の挿入場所を指定する。

投稿論文の作成に当たっては、投稿規定および「投稿の手引き」を熟読のうえ、本誌第61巻3号以降に掲載された論文の体裁を参照して下さい。